

支援を受けた学生からの感謝の声

使途E「学生、不安定な雇用状態にある研究者の研究活動に対する支援」では、本学の大学院に在籍する学生のうち一定の条件を満たす学生を対象に、研究成果の発表等を目的として、学会等へ参加する際、その旅費等の一部を支援する奨学金を支給しています。今回は、2025年度に奨学金を受給し、学会発表を行った学生の報告をご紹介します。

自然科学研究科 三宅葉月さん

この度、島根大学支援基金からのご支援を賜り、第49回有機電子移動化学討論会に参加しました。本討論会では電子移動反応に関する最先端の研究が活発に議論され、全国の研究者と交流することで多くの刺激を受けました。その中で私は、口頭発表において最優秀講演賞を受賞し、自身の研究の意義や面白さを伝えられたことを大変光栄に思っております。私は持続可能な社会の実現に貢献する反応開発を目指して日々実験に取り組んでおり、その成果を発表できる機会は大変貴重です。今回得られた知見は、今後の研究をさらに発展させるうえで大きな糧となりました。貴重な機会をいただいたことに、心より感謝申し上げます。



ホームカミングデー2025開催のご報告

- 令和7年10月12日(日)にホームカミングデーを開催し、「第10回島大会員のつどい」を同時開催しました。当日は91名の皆さまにご参加いただき、第一部では、学長から支援事業の報告等があり、その後2名の学生が発表を行いました。第二部では法文学部の宮澤文雄准教授から「『怪談』の裏側を読むー小泉八雲の創作背景ー」と題して講演を行いました。



教育学部4年 後藤 千聖さん

使途B「グローバルチャレンジ奨学金」を活用して海外留学を経験した後藤さんが、ポーランドでの様々な経験と、学びや気づきについて報告しました。



〈里山焼かんかね?〉代表
生物資源科学部3年 岡田 愛世さん

本学の学生団体「里山焼かんかね?」の代表岡田さんが、サークル活動の説明と、焼畑を通じた持続可能な農業の実践についての発表を行いました。

～ホームカミングデーで集まったリサイクル募金寄附金額の報告～

「島根大学リサイクル募金」は、読み終えた本やDVDをご提供いただき、その査定換金額を大学へ寄附する仕組みです。ホームカミングデーでは、皆さまのご協力により245冊の本が集まり、査定の結果、3,231円の寄附額となりました。この寄附金は、島根大学の教育・研究活動の充実に役立てられます。

リサイクル募金の
詳細はこちら→



【第11回島大会員のつどい開催案内】

令和8年2月8日(日)に島大会員のつどいを開催します。詳しくは、開催チラシをご覧ください。詳しくは、開催チラシをご覧ください。

支援基金HP
はこちら↓



【島大会員への入会方法】

島根大学支援基金へ一定額(5,000円)以上ご寄附いただいたことのある方はどなたでもご加入いただけます。(永年会員・会費無料)ご寄附の際に、支援基金寄附書等の島大会員入会希望欄にチェックし、加入申込みを行ってください。